



令和3年9月6日
海上保安庁

海図作製150年の歴史 ～第150回水路記念日企画展示～

明治4（1871）年9月12日に海洋情報部の前身である「兵部省海軍部水路局」が設立されてから、令和3（2021）年9月で150周年を迎えます。これを記念し、「海図作製150年の歴史」と題して、海洋情報資料館において過去から現在までのさまざまな海図や水路測量に用いた調査機器を展示します。

○第150回水路記念日企画展示

1. 期間

令和3年9月12日（日）（水路記念日）から12月24日（金）まで
月、水、金、日曜日（祝日を除く）午前10時30分～午後4時00分
（事前予約制、入館無料）

2. 場所

海上保安庁 海洋情報資料館 東京都江東区青海2-5-18（下図参照）

3. 主な展示内容

- ・ 東京湾、横浜港、横須賀港の明治初期、昭和、現在の海図
- ・ 海洋情報業務150年の歴史を示すパネル
- ・ 最新の測量船や測量機のパネル



むさしのくにとうきょうかいわんず
武蔵國東京海湾圖
(明治6年)



初代水路部長
やなぎ ならよし
柳 檣悦



最新の測量船
「平洋」と「光洋」

